

新春日部

発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市粕壁東
6丁目7-12
電話 748-5159
FAX 748-5179

希望をもつて暮らせる社会へ 国へ2024年度予算要望

11月9日、日本共産党埼玉
県委員会、国会議員団埼玉事
務所、埼玉県議会議員団は、
2024年度「埼玉にかかわ
る政府の施策および予算編成
に対する要望」を提出し参議
院議員会館で省庁担当者と懇
談をおこないました。

参加者は塩川鉄也衆議院議
員、梅村さえこ比例代表予定
候補、秋山もえ埼玉6区予定
候補、城下のりこ、山崎すな
お、伊藤はつみ県議をはじめ、
そのほか12市町の議員団代表
と、春日部市議団からは木下
みえ子議員が参加しました。
予算要望内容は各省庁へ合
計133項目おこないました。

そのうち14項目について、省
庁担当者より回答が示され、
その後の質疑応答により、県
民の切実な声がそれぞれの議
員から訴えられました。

放射能汚染土壌 再生利用の事業撤回を

当日回答、質疑応答がされ
た要望の一部は以下の通りで
す。

・福島原発事故による放射能
汚染土壌再生利用の実証実験
を中止してほしい。地元での
説明会も反対により開けてい
ない。事業執行ができていな
い、予算の繰り越しをしない
というのであれば、事業を撤

回するべき。

県内で交番7箇所が 削減、警察官増員を

・令和3年度、県内で交番7
箇所が警官OBの短時間勤務
する相談所に格下げになった。

県は警官の負担人口が全国
でワーストワンであることか
ら警察官を増員し、交番を復
活、増設するべき。

障害者入所施設整備 事業者への補助を

・障害者入所施設利用削減目
標を県に押し付けず、申請す
る施設整備事業についてすべ
て採択してほしい。施設整備
に手を挙げたところには予算
をつけて欲しい。

猛暑に対応して 夏季加算を

・生活保護に夏季加算を新設
すること。部会で電気代の増

加を確認できなかったという
報告があるが、報道などでも
我慢して亡くなった事例など
があることから、現場の生の
声をしっかりと
認識してほし
い。

その他、医

師不足解消に
県立大学に医
学部設置を、
国保税水準の
統一へ県を誘
導しないこと、
後期高齢者の
検診項目に聴
力検査を、な
ど住民の命と
暮らしを守る
最前線である、
地方自治体の
自主性を尊重
し、必要な財
政措置をおこ
なうことを求
めました。



<生活相談は日本共産党へ>

並木としえTEL737-4576 大野とし子TEL746-6136 今尾やすのりTEL761-3676 木下みえ子TEL734-4677

日本共産党市議団ホームページ <https://www.jcp-ka.s.ukabe.jp/>



市議会厚生福祉委員会行政視察

0歳から39歳までココからエールを

市議会厚生福祉委員会の行政視察が10月18日から20日まで、愛知県豊橋市、福井県敦賀市、石川県金沢市でおこなわれ、日本共産党からは並木としえ議員が参加しました。

ーども・若者のあらゆる相談を支援

愛知県豊橋市では、こども若者総合相談支援センター「ココエール」を視察。「ココエール」では「こどもと若者に関するあらゆる相談に応じ、一人ひとりの困りごとに寄り添ったサポートを」というコンセプトで、対象年齢は0歳から39歳までとされています。乳幼児の発達、子育ての不安、貧困、

いじめ、不登校、非行、ひきこもり、就労：すべての相談を受け付けます。支援までの流れは、電話やメール、ファックスで受け付け、

面談の上、支援内容を相談・決定します。行政機関だけでなく民間支援団体と連携・協力し、カウンセリング、役所の手続きや病院受診の同行、自宅や学校への訪問などの支援と、「ココエール」施設内では体験講座や子育て・発達についての学習会、不登校のお子さんの勉強会をおこなっています。簡単に解決できないものが多いが、センターを開設したことで「相談できるところ」ができ、関係機関との連携が強化されたと言えます。今後の課題として、

人材育成、専門性の向上をあげ、市として児童相談所を設置することを検討しているということでした。

県との連携で第1子から支援

福井県敦賀市では「子育て環境日本一プロジェクト」を視察しました。

敦賀市も出生率の低下、年少人口の減少が課題となっていて、福井県と連携し、子育て環境の充実に取り組んでいます。市の事業として①すべての5歳児を対象に海や山での自然体験を実施、②第1子出産応援手当として第1子出産の際に10万円の手当を支給、が特徴です。多子世帯、第2子に対する支援は、県の制度として保育料無料などの支援があるが、「一人産んでくれるだけでも応援する」姿勢を形にしたもの、ということでした。

在宅医療・介護連携の専門部署

金沢市では、在宅医療・介護連携支援センター「いいがいネット」を視察しました。

在宅医療・介護連携については、地区ごとに4つのネットワークがあり、そのうち市の中心にある「かなざわ在宅ネット」が取りまとめ役を担っていました。令和4年度に金沢健康福祉財団に委託して「いいがいネット」を立ち上げ、各ネットワークの連携や相談、研修・講習会を専門に取り扱うことができるようになりました。立ち上げから2年目で、現在は在宅医療・介護連携についての要求・課題を整理しています。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

11/19(日)成松医院(内科系)上蛭田64-1 TEL763-5211 岩本小児科医院(小児科系)

谷原3-12-1 TEL795-8796 渡辺整形外科(外科系)西金野井309-12 TEL746-0007

11/26(日)埼玉東部診療所(内科系)大畑321 TEL720-8715 ファミリークリニックまの

(小児科系)千間1-59-5 TEL736-5155 さくら皮膚科(外科系)中央1-1-1 TEL760-4112